

## 基本調査

### 第Ⅱ部 調査結果の概要



## 調査結果の概要

### 調査結果のポイント

1. 昨年の今頃と比較した現在のくらし向きについて、

**『悪くなった』は6.0ポイント増の45.7%**

(P12 図表1-2)

〔  
『よくなった』は3.6ポイント減の9.2%  
「変わらない」は4.1ポイント減の40.8%  
〕

2. くらし向きが『悪くなった』理由について、

**「日常の生活費が増えたため」が4年連続で第1位**

(P13 図表1-3)

3. 県行政への要望について、

**「治安対策」が5.8ポイント増の55.6%で第1位**

(P18 図表4)

### 【記載内容についての注意】

・ 調査結果の比率(%)の数値は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。

・ 複数回答の設問では、その比率(%)の合計が100%を上回ることがある。

・ 文中の「n」は、「number of cases」の略で、質問に対する回答者の総数を表す。

※令和7年度(n=1,627)、令和6年度(n=1,206)

・ 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせた場合に用いる。

例：「たいへん満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせたものを  
《満足している》と表現している。

また、この場合の比率は実際の回答数の合計から算出しており、個々の選択肢の比率  
の単純な合計とは値が異なる場合がある。

・ 文中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。

## 1 くらし全般(問1から問5)

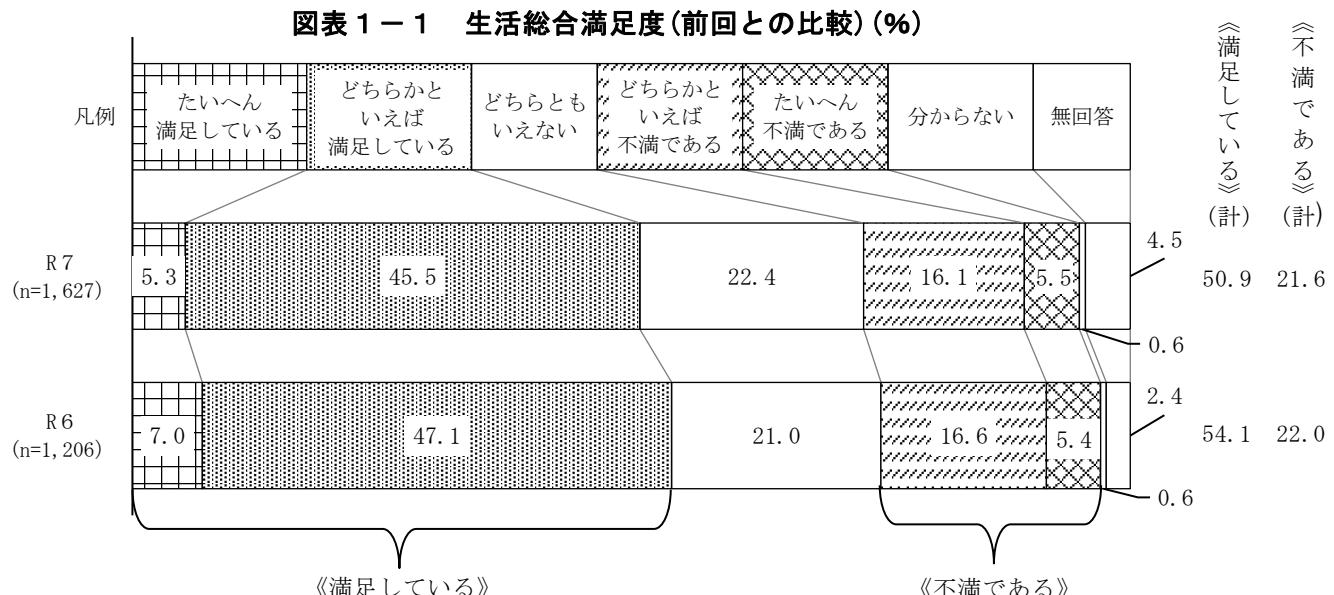
### ▼生活総合満足度

現在の生活全般について、どの程度満足しているか尋ねた。

「たいへん満足している」(5.3%)と「どちらかといえば満足している」(45.5%)を合わせた《満足している》は50.9%で、前回より3.2ポイント減(54.1%→50.9%)となった。

一方、「たいへん不満である」(5.5%)と「どちらかといえば不満である」(16.1%)を合わせた《不満である》は21.6%で、前回より0.4ポイント減(22.0%→21.6%)となった。

[図表1-1]



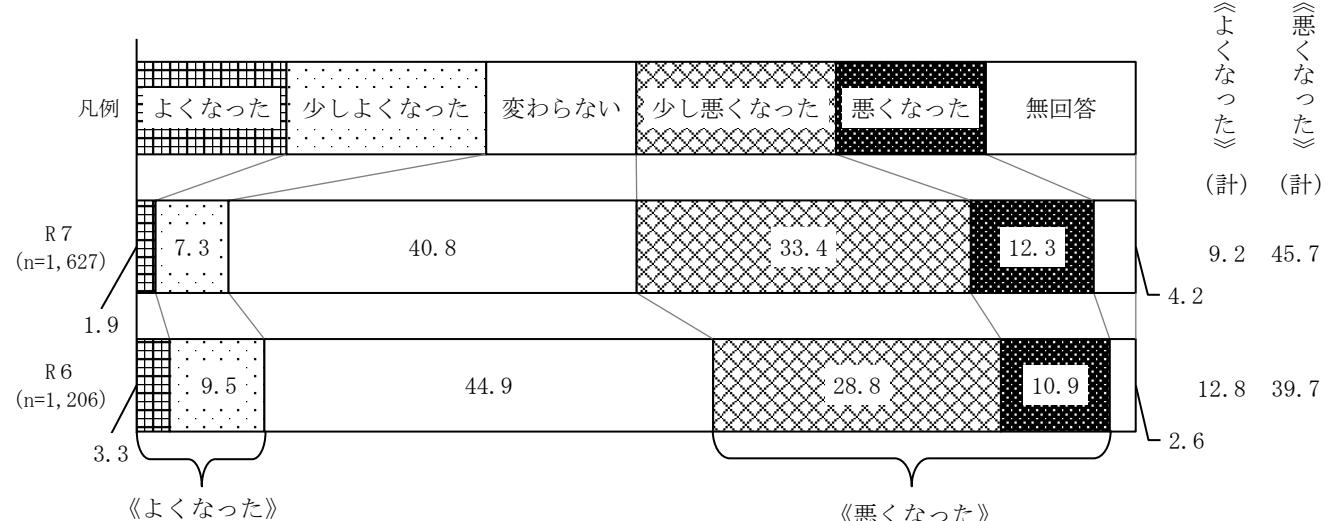
### ▼くらし向きの変化

昨年の今頃と比較した現在のくらし向きについて尋ねた。

「よくなった」(1.9%)と「少しよくなった」(7.3%)を合わせた《よくなった》は9.2%で、前回より3.6ポイント減(12.8%→9.2%)となった。

一方、「悪くなった」(12.3%)と「少し悪くなった」(33.4%)を合わせた《悪くなった》は45.7%で、前回より6.0ポイント増(39.7%→45.7%)となった。[図表1-2]

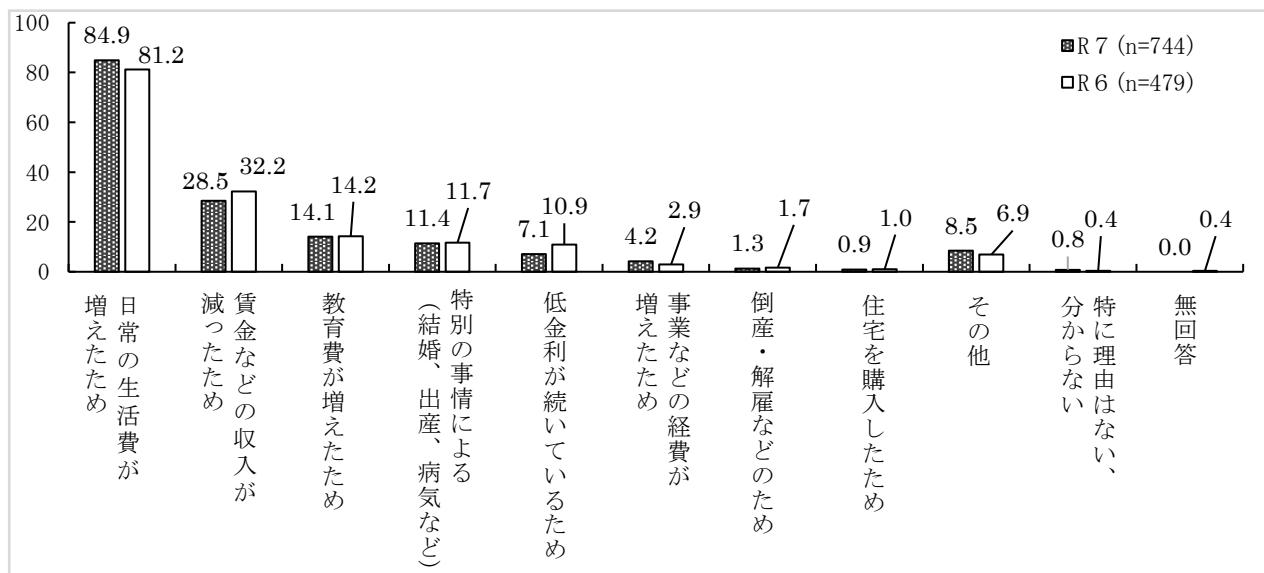
[図表1-2 くらし向きの変化(前回との比較)(%)



くらし向きが《悪くなった》と答えた744人にその理由を複数回答で尋ねたところ、「日常の生活費が増えたため」が84.9%と、前回より3.7ポイント増(81.2%→84.9%)で最も多く、次いで「賃金などの収入が減ったため」が28.5%であった。

前回と比較して増減幅が最も大きかったのは、「低金利が続いているため」で3.8ポイント減(10.9%→7.1%)となった。〔図表1-3〕

図表1-3 くらし向きが悪くなった理由(前回との比較)(複数回答)(%)



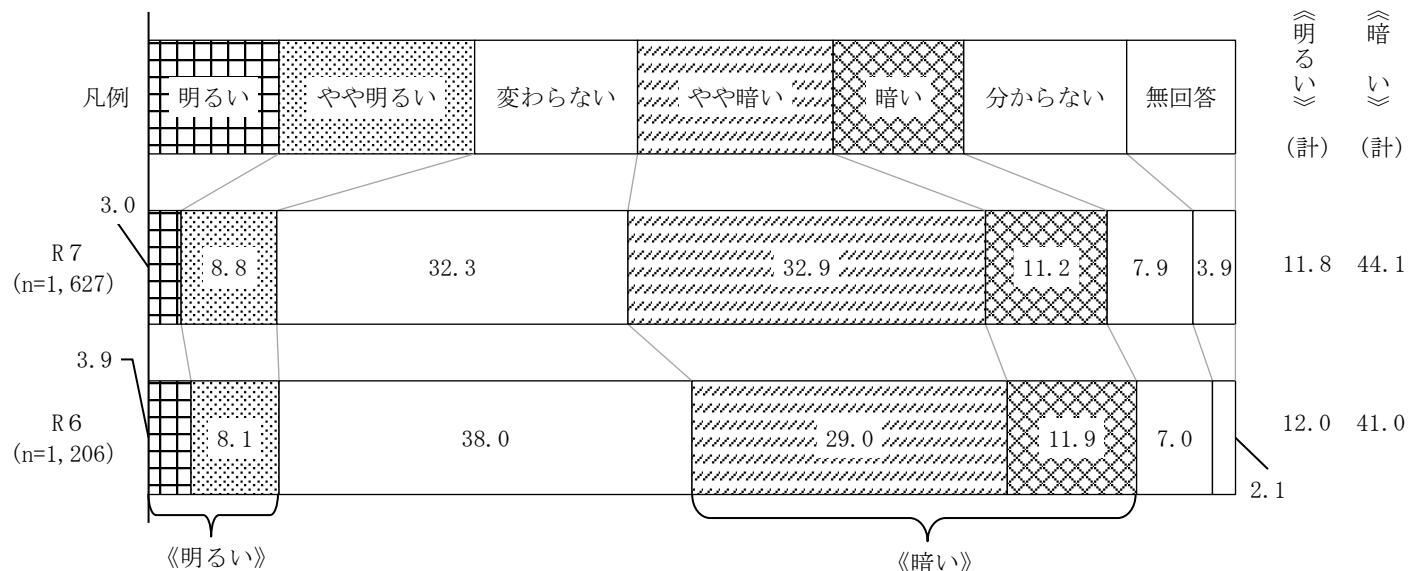
#### ▼今後のくらし向きの見通し

今後のくらし向きの見通しを尋ねた。

「明るい」(3.0%)と「やや明るい」(8.8%)を合わせた《明るい》は11.8%で、前回より0.2ポイント減(12.0%→11.8%)となった。

一方、「暗い」(11.2%)と「やや暗い」(32.9%)を合わせた《暗い》は44.1%で、前回より3.1ポイント増(41.0%→44.1%)となった。〔図表1-4〕

図表1-4 今後のくらし向きの見通し(前回との比較)(%)



## ▼地域の住みよさ

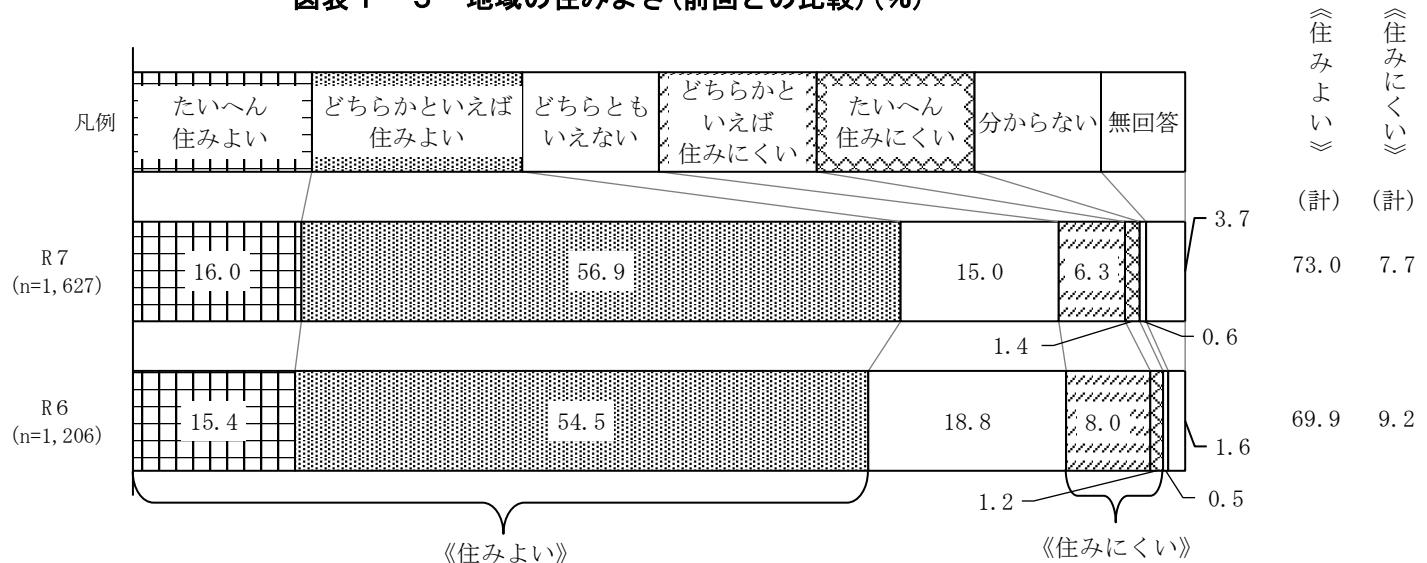
現在住んでいる地域の住みよさについて尋ねた。

「たいへん住みよい」（16.0%）と「どちらかといえば住みよい」（56.9%）を合わせた《住みよい》は73.0%で、前回より3.1ポイント増（69.9%→73.0%）となった。

一方、「たいへん住みにくい」（1.4%）と「どちらかといえば住みにくい」（6.3%）を合わせた《住みにくい》は7.7%で、前回より1.5ポイント減（9.2%→7.7%）となった。

〔図表1-5〕

図表1-5 地域の住みよさ(前回との比較) (%)

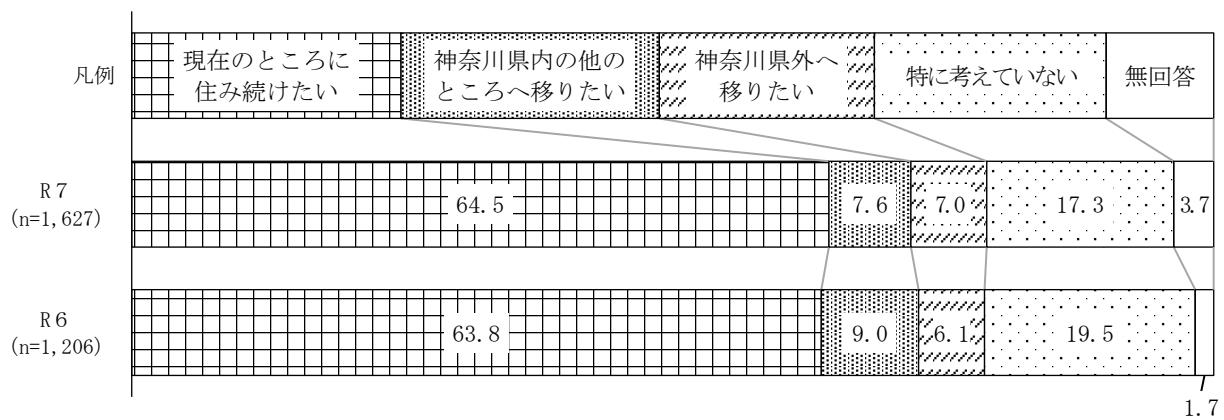


## ▼定住意向

今後も現在のところに住み続けたいか尋ねたところ、「現在のところに住み続けたい」が64.5%で最も多く、「神奈川県外へ移りたい」は7.0%で最も少なかった。

前回と比較すると、「現在のところに住み続けたい」は0.7ポイント増（63.8%→64.5%）となり、「神奈川県外へ移りたい」は0.9ポイント増（6.1%→7.0%）となった。〔図表1-6〕

図表1-6 定住意向(前回との比較) (%)



## 2 生活意識(問6)

県民の様々な生活意識や態度を把握するために、30の項目を提示して「そう思う」と「そう思わない」で尋ねた。

「そう思う」と「そう思わない」の上位5項目の結果を表にすると、〔図表2〕のとおりとなつた。

前回と比較すると、「そう思う」では、「育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ」が、0.1ポイント増(89.8%→89.9%)で、前回に続いて第1位となつた。

一方、「そう思わない」では、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」が、2.2ポイント増(86.6%→88.8%)で、前回に続いて第1位となつた。

図表2 「そう思う」、「そう思わない」の上位5項目 (n=1,627)

順位	「そう思う」 ( )内は令和6年度の結果(n=1,206)	順位	「そう思わない」 ( )内は令和6年度の結果(n=1,206)
1	育児は社会的にも重要であり、 もっと評価されるべきだ 89.9% (1位89.8%)	1	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ 88.8% (1位86.6%)
2	食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買いすぎなどに気をつけている 89.5% (新規)	2	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない 81.3% (2位82.4%) 地域社会になっている
3	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ 86.2% (3位84.6%)	3	公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい 75.4% (6位72.7%)
4	ゴミを出すにあたって、分別やリサイクルを意識する、できるだけゴミを減らすなど、環境のことを考えた生活を心がけている 85.8% (2位89.1%)	4	子ども・若者が自分自身の価値や存在感を実感できる世の中になっている 71.1% (7位72.0%)
5	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい 83.6% (4位82.9%)	5	今後10年くらいの間に、外国人にとつてもくらしやすい地域社会になっている 66.9% (11位64.4%)

### 3 くらしの満足度(問7)

身近な生活に関する38項目について、それぞれの「重要度」及び「満足度」を尋ねた。

なお、「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせたものを《重要である》、「十分満たされている」と「かなり満たされている」を合わせたものを《満たされている》、「ほとんど満たされていない」と「あまり満たされていない」を合わせたものを《満たされていない》と表している。

#### ▼生活重要度

《重要である》の上位10項目の結果を表にすると、〔図表3-1〕のとおりとなった。

前回と比較すると、《重要である》では、「病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」が、前回に続いて第1位(95.4%)となった。

図表3-1 《重要である》の上位10項目 (n=1,627)

順位	《重要である》 ( )内は令和6年度の結果(n=1,206)	
1	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること	95.4% (1位94.9%)
2	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること	94.7% (2位94.5%)
3	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	93.5% (4位92.3%)
4	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること	93.4% (5位91.6%)
5	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと	91.7% (3位93.8%)
6	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	91.6% (7位89.4%)
7	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること	90.0% (6位90.1%)
8	安全で安心な消費生活が送れること	89.9% (7位89.4%)
9	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること	85.1% (9位85.7%)
10	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること	84.3% (11位82.2%)

## ▼生活満足度

《満たされている》と《満たされていない》の上位5項目の結果を表にすると、〔図表3－2〕のとおりとなった。

前回と比較すると、《満たされている》では、「通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」が0.5ポイント減(51.1%→50.6%)したものの、前回に続いて第1位となった。

一方、《満たされていない》では、「地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が1.6ポイント増(39.2%→40.8%)で、前回に続いて第1位となった。

図表3－2 《満たされている》、《満たされていない》の上位5項目 (n=1,627)

順位	《満たされている》 ( )内は令和6年度の結果(n=1,206)	順位	《満たされていない》 ( )内は令和6年度の結果(n=1,206)
1	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと 50.6% (1位51.1%)	1	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること 40.8% (1位39.2%)
2	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること 47.8% (2位48.3%)	2	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること 33.7% (2位34.5%)
3	身近に親しめるみどりや水辺があること 47.4% (3位47.8%)	3	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること 31.8% (3位34.1%)
4	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること 45.4% (4位45.2%)	4	太陽光発電の設置や再生可能エネルギー由来の電力への切り替えなど、再生可能エネルギーの導入や利用が進んでいること 30.6% (6位30.3%)
5	安心して利用できる公園が整備されていること 40.3% (5位41.4%)	5	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること 30.4% (4位31.6%)

#### 4 県行政への要望(問8)

県行政を進めていくうえで力を入れて取り組んでほしい分野について、30項目を挙げて尋ねたところ、上位10項目は〔図表4〕のとおりとなった。

前回と比較すると、「治安対策」は5.8ポイントの増(49.8%→55.6%)で、前回の第2位から第1位となった。また、上位10項目の中で前回と比較して増減幅が最も大きかったのも、「治安対策」となった。

図表4 県行政への要望 上位10項目(複数回答) (n=1,627)

順位	力を入れて取り組んでほしい分野 ( )内は令和6年度の結果(n=1,206)
1	治安対策 55.6% (2位49.8%)
2	防災対策 51.5% (1位51.6%)
3	医療体制の整備 36.0% (3位36.6%)
4	高齢者の福祉対策 31.8% (4位33.5%)
5	子育て支援 30.9% (5位32.3%)
6	地球温暖化の防止 19.6% (8位20.1%)
7	学校教育の充実 18.9% (7位20.7%)
8	道路やまちなみの整備 18.6% (9位18.5%)
9	公共交通の利便性を高める 17.9% (6位23.0%)
10	交通安全対策 16.9% (10位18.1%)